

# 全体プログラム

※ 報告者の発表日時、演題などについては、「一般報告プログラム」をご確認下さい。

■ 1日目 6月24日（土） 受付 9:00～

※【 】内は発表番号

	A会場 (377 教室)	B会場 (378 教室)	C会場 (379 教室)
開始時刻	エネルギー①/ 環境経済・環境政策①	環境教育①/土壌・水質①	震災・災害/ 環境法/市民科学
9:30	【A-1】	【B-1】	【C-1】
9:45	【A-2】	【B-2】	【C-2】
10:00	【A-3】	【B-3】	【C-3】
10:15	【A-4】	【B-4】	【C-4】
10:30	【A-5】	【B-5】	【C-5】
10:45	休憩 (15 分間)		
	エネルギー②	環境教育②	環境情報①/土壌・水質②
11:00	【A-6】	【B-6】	【C-6】
11:15	【A-7】	【B-7】	【C-7】
11:30	【A-8】	【B-8】	【C-8】
11:45	【A-9】	【B-9】	【C-9】
12:00 	ポスター発表【P-1】 コアタイム 12:00～13:00 (講堂前ホワイエ) 昼食 (90 分間) ・ 「旧年度」 幹事会 (277 教室)		
13:30 	公開シンポジウム「コーヒー2050年問題とフェアトレードの現在」 会場：講堂		
15:30	休憩 (15 分間)		
15:45 	日本環境学会 第49回 総会 会場：講堂		
17:00	休憩・移動 (30 分間)		
17:30   19:30	懇親会 会場：大学生協食堂		

■ 2日目 6月25日(日) 受付8:30~

※【 】内は発表番号

	A会場 (377 教室)	B会場 (378 教室)	C会場 (379 教室)
開始時刻	エネルギー③/ 地球環境/環境政策②	環境哲学/ 環境経済・環境政策③	廃棄物・都市問題①
9:00	【A-10】	【B-10】	【C-10】
9:15	【A-11】	【B-11】	【C-11】
9:30	【A-12】	【B-12】	【C-12】
9:45	【A-13】	【B-13】	【C-13】
10:00	休憩 (15 分間)		
	環境政策④/環境情報②/ 大気汚染	環境教育③	廃棄物・都市問題②
10:15	【A-14】	【B-14】	【C-14】
10:30	【A-15】	【B-15】	【C-15】
10:45	【A-16】	【B-16】	【C-16】
11:00	【A-17】	【B-17】	【C-17】
11:15	休憩 (15 分間)		【C-18】
11:30 	ミニ・エクスカーション 会場：屋上緑地		
12:00	昼食 (60 分間) ・ 「新年度」 幹事会 (277 教室)		
13:00 	企画セッション【K-1】 (A会場)	企画セッション【K-2】 (B会場)	
15:00	休憩・移動 (10 分間)		
15:10 	エクスカーション「音と生態系サービス：「自然の恵み」としての音楽」 15:20 大学発 (徒歩 15 分) 15:45-17:00 学芸員による解説 会場：浜松市楽器博物館		
17:00	その後は自由解散		

# 一般報告プログラム

1日目 6月24日(土)

## < A会場 >

【座長：竹濱朝美】

- 09:30 A-1 太陽光発電技術に関するエコロジカル・フットプリント比較  
黄 麗蕊 (同志社大学経済学研究科)
- 09:45 A-2 脱炭素時代における電力業界のバリュー・ネットワーク変化の研究  
ー風力発電事業の日本と海外企業比較を事例として  
志田 崇 (城西大学経営学部)
- 10:00 A-3 コネクティッド化された電気自動車充放電器の応答・応動時間の計測  
○今中政輝・馬場博幸・荻本和彦 (東京大学)
- 10:15 A-4 「龍谷大学学生気候会議」：大学の気候ガバナンスにおける学生の参画に向けて  
的場信敬 (龍谷大学政策学部)
- 10:30 A-5 地域新電力による自治体エネルギー政策推進支援事例から見えるもの  
木原浩貴 (京都府地球温暖化防止活動推進センター・総合地球環境学研究所)

【座長：的場信敬】

- 11:00 A-6 自治体気候エネルギー政策の評価指標についての検討  
豊田陽介 (特定非営利活動法人気候ネットワーク)
- 11:15 A-7 家庭、業務、産業の部門別電力需要とデマンドレスポンス利用可能量の推定の試み、電力  
需給バランスの試算  
○竹濱朝美 (立命館大学)・歌川 学 (産業技術総合研究所)
- 11:30 A-8 高知県黒潮町・日高村の地球温暖化対策実効計画策定と、地球温暖化防止活動推進セン  
ターと研究者の中間支援について  
○歌川 学 (産業技術総合研究所)・中村将大 (環境の杜こうち・高知県  
地球温暖化防止活動推進センター)
- 11:45 A-9 グリーン電力における環境配慮行動  
大内茉優 (関西学院大学大学院総合政策研究科)

## < B会場 >

【座長：小堀洋美】

- 09:30 B-1 地域理解を目的とした環境教育プログラムの実施～静岡市の小学校での事例を中心に～  
○鈴木翔喜 (東海大学大学院人間環境学研究科)・  
藤野裕弘 (NPO 法人地域環境ネットワーク)
- 09:45 B-2 地元を知るための環境教育プログラムの構築 ～小学校での出前授業の実践を含めて～  
○樋口琉以 (東海大学大学院人間環境学研究科)・  
藤野裕弘 (NPO 法人地域環境ネットワーク)
- 10:00 B-3 吾妻川水系源流域の地質環境が河川水および地下水の水質に与える影響の解明  
○榎本小槇 (東海大学大学院人間環境学研究科)・倉元隆之 (東海大学教養学部)

- 10:15 B-4 丹沢山地南部の森林流域における渓流水質の形成要因の解明  
○倉元隆之・松月 淳（東海大学教養学部）
- 10:30 B-5 室内実験による非湛水・乾燥条件におけるカワニナの特性  
○近藤雅秋・柴田花奈（三重大学生物資源学部）

【座長：藤野裕弘】

- 11:00 B-6 SDGs の理解推進に資するコーヒーの循環モデル構築と非酸化コーヒー開発  
○後藤 裕（日本コーヒー文化学会）・廣瀬 元（金城大学）・稲葉健将（㈱ビタル企画）
- 11:15 B-7 フェアトレード商品を扱う企業と連携した摂南大学での実践演習の試み  
村瀬憲昭（摂南大学）
- 11:30 B-8 竹福商連携による竹の資源化モデルの開発と実践 ～鹿児島県大崎町での実証～  
田中 力（慶應義塾大学政策・メディア研究科）
- 11:45 B-9 SDGs 未来都市・戸田市の持続可能なまちづくり  
飛田 満（目白大学社会学部）

#### < C会場 >

【座長：知足章宏】

- 09:30 C-1 福島原発事故後の野生イノシシにみられたマイクロサテライトの変化と政策提言  
○村瀬 香・大塚一磨（名古屋市立大学大学院理学研究科）
- 09:45 C-2 ニホンイノシシの肺の染色画像を用いた基礎組織学的研究  
○大塚一磨・村瀬 香（名古屋市立大学大学院理学研究科）
- 10:00 C-3 昭和期以降の金属鉱山山元における「受益圏」と「受苦圏」の考察  
匂坂宏枝（宇都宮大学大学院）
- 10:15 C-4 東海第二原発水戸地裁判決と原発避難  
神戸秀彦（関西学院大学司法研究科）
- 10:30 C-5 中国の流域環境保全活動における市民科学の実践の新たな可能性  
—貴州省貴陽市の事例からの検討—  
黄 璇（名古屋大学）

【座長：村瀬 香】

- 11:00 C-6 キャンパス DX プロジェクトにおける気象観測データの収集とオープンデータ化  
○伊藤良栄・三島 隆（三重大学大学院生物資源学研究科）
- 11:15 C-7 三重大学キャリア支援システムのアプリ機能と運用の特徴について  
長屋祐一（三重大学大学院生物資源学研究科）
- 11:30 C-8 東京都環境確保条例による土壌汚染対策  
佐藤克春（大月短大）
- 11:45 C-9 日化工工場跡地付近で続く 6 価クロム漏出に対する降雨影響と汚染漏出メカニズムの推定  
○尾崎宏和・林 佳奈・鶴池杏菜・大矢悠幾・松田宗一郎・細野達也・五味彩乃・原 優太・池田桃恵・王 楨・大野由美子・一瀬 寛・渡邊 泉（東京農工大学）

**2日目 6月25日(日)**

**< A会場 >**

【座長：安田圭奈江】

09:00 A-10 新型コロナ感染拡大に伴う産業活動及び行動の制限に着目した電力需要の変動要因の解析

○小倉亜紗美（呉工業高等専門学校）・岡田将裕（広島大学総合科学部卒業生）・  
中坪孝之（広島大学大学院統合生命科学研究科）

09:15 A-11 茅恒等式を用いた日本のCO<sub>2</sub>排出要素の変化と政策効果の分析

近江貴治（久留米大学商学部）

09:30 A-12 川内原発20年延長を問う県民投票の経緯とその意義

八木 正（鹿児島国際大学）

09:45 A-13 気候正義からみたエネルギー貧困問題の現状と課題

上園昌武（北海学園大学経済学部）

【座長：近江貴治】

10:15 A-14 太陽光パネルリサイクルの技術開発・市場形成に関する課題

村上玲奈（立命館大学経営学研究科）

10:30 A-15 中古品の受容性とパーソナリティの関係

○木村 大・小西直喜・木村元洋・杉本史恵・武田裕司・佐藤  
稔久・竹中 毅・赤松幹之（産総研）・上田貴康・盛合威夫・  
福水崇裕（トヨタ自動車）・原 昌司（豊田中央研究所）

10:45 A-16 ポートランドハーバー・スーパーファンドサイトにおける浄化費用負担主体

安田圭奈江（京都外国語大学共通教育機構）

11:00 A-17 光化学オキシダント汚染と川崎病罹患率の関係について

○木村健一郎（杉並大気汚染測定連絡会）・権上かおる（環境カウンセラー）

**< B会場 >**

【座長：萩原 豪】

09:00 B-10 市民環境活動の訴えるもの —「絵画スプーン事件」から考える

柿沼美穂（東京工芸大学）

09:15 B-11 物質代謝の制御能力としての〈労働の生産力〉

浅川雅己（札幌学院大学経済経営学部）

09:30 B-12 耕畜連携による持続可能な農家経営の実態分析 —島根県邑南町を事例に—

○関 耕平・一戸俊義（島根大学）・北山幸子（立命館大学）・  
佐藤邦明・松本一郎（島根大学）

09:45 B-13 イタリアのアグリツーリズム農家での食品・ワイン等の地産地消を推進する組織的活動の先進事例調査（その2）

佐藤 輝（フェリス女学院大学国際交流学部）

【座長：関 耕平】

- 10:15 B-14 環境教育・ESD の実践としての農業がつなぐ地域との協働  
萩原 豪 (高崎商科大学)
- 10:30 B-15 科学技術をひらく科学館の展示場における対話の役割  
加藤木ひとみ (東京農工大学連合農学研究科)
- 10:45 B-16 環境教育のための VR 動画の制作  
高野拓樹 (京都光華女子大学キャリア形成学部)
- 11:00 B-17 環境学の体系化のための試論  
森谷昭一 (森谷工房環境教育部)

## 2 日目

### < C会場 >

【座長：北川秀樹】

- 09:00 C-10 古着の国際流通と廃棄問題  
浅妻 裕 (北海学園大学経済学部)
- 09:15 C-11 立命館大学でのアパレルの資源循環の取り組み  
○下里青海・秋本 優・SHIN DONGJU・岸 藍良・豊岡千怜 (Rits CLO)・  
中村慎吾 (立命館大学経営学部)
- 09:30 C-12 Bottle to Bottle 活動報告 ～立命館大学を起点に資源循環の輪を～  
○三木 旭 (立命館大学経営学部)・村上玲奈 (立命館大学経営学研究科)・  
澤田歩佳 (立命館大学経営学部)
- 09:45 C-13 海洋プラスチック汚染に関する国際協力の課題 ―紅海を例として  
吉田充夫 (一般社団法人国際環境協力ネットワーク／独立行政法人国際協力機構)

【座長：吉田充夫】

- 10:15 C-14 日本における廃樹皮の有効利用への試み  
中山榮子 (昭和女子大学・院)
- 10:30 C-15 市町村におけるプラスチック製容器包装の減量・リサイクル推進の実態と施策  
馬 建 (龍谷大学大学院政策学研究科)
- 10:45 C-16 地方自治体における生ごみ分別・リサイクル  
北川秀樹 (龍谷大学)
- 11:00 C-17 生ごみ分別回収と資源循環  
○八木 正 (鹿児島国際大学)・佐藤友啓 (イタリアゼロウェイスト)
- 11:15 C-18 イタリア大使館敷地の水環境総合調査報告 (その2)  
神谷 博 (法政大学江戸東京研究センター)

**ポスター発表** ユアタイム 1 日目 12:00～13:00

### < 講堂 1 階ホワイエ >

- P-1 カザフスタンの一般廃棄物の管理問題 ―日本の一般廃棄物管理を発展モデルとして―  
○モシュカル マディナ・アハポフ エルラン (アル・ファラビ名称カザフ国立大学)

## 自主企画セッション 2日目 13:00～15:00

### <A会場>

K-1 オーストリアにおける地域エネルギー・ガバナンスの最新動向：人材・教育分野に注目して

代表：的場信敬（龍谷大学政策学部）

### <B会場>

K-2 公害地域の環境再生と「地域の価値」の創造

代表：除本理史（大阪公立大学）

## 公開シンポジウム 1日目 13:30～15:30

（当学会会員におかれましてはシンポジウム参加への個別のお申し込みは不要です。）

### 公開シンポジウム

# コーヒー2050年問題とフェアトレードの現在

おいしいコーヒーを飲み続けるために  
私たちに何ができるか？

気候変動の影響を受け、現在のコーヒー生産国では収穫量が大きく減少する懸念があります。現場で何か起きているのかを学びつつ、消費を通じた課題解決の可能性を考えます。

**2023年6月24日(土)**  
**13:30▶15:30 (開場 13:00)**  
会場：静岡文化芸術大学・講堂

## Program

- 気候変動とコーヒー生産者の応答—今、コーヒーの生産現場で何が起きているのか？  
武田淳（静岡文化芸術大学）
- フェアトレード市場の最前線—国際フェアトレード認証の最新動向より  
中島佳織（認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン）
- ネパールの環境配慮型農作物が生み出す持続可能な雇用  
渡来純（日本品質保証機構）
- 持続可能なコーヒーとは？—スリランカの小規模コーヒー農家を訪ねて  
小倉亜紗美（呉工業高等専門学校）

**同時開催**

JAES フェアトレードマーケット  
会場ではコーヒーをはじめとしたフェアトレード商品をお買い求めいただけます。

主催 静岡文化芸術大学・日本環境学会  
後援 認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン、はままつフェアトレードタウン・ネットワーク、浜松市、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送

静岡文化芸術大学  
六間道路  
通州病院駅 ●通州病院 ●東小学校 ●東小学校 R152  
●県総合庁舎 ●楽器博物館  
第一通り駅 ●ホテルクラウンパレス浜松 ●アクトシティ  
新浜松駅 バスターミナル ●アクトシティ  
JR浜松駅 【徒歩】JR浜松駅から徒歩15分。  
【バス】浜松バスターミナル  
◆番のつば通バス「文化芸術大学」下車

浜松市中区中央2-1-1  
構内に駐車場がありませんので公共交通機関でお越し下さい

**入場無料**

### 申込方法

お申込みはこちら▶ 

または①氏名②フリガナをご記入の上、  
j-takeda@suac.ac.jp（武田淳）までご連絡ください。

定員：先着100名様まで